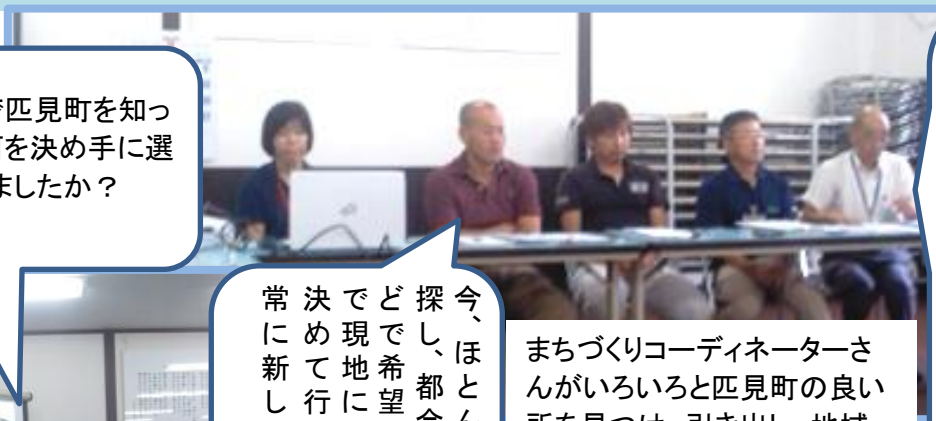
集落支援だより

平成28年10月1日　No.１８

美川支所　地域振興班
美川地域集落支援員
さんぶいち　　たえこ
三分一　多恵子
☎76－0329

8月23日　美川定住促進連絡協議会

美川定住促進連絡協議会の益田市匹見町視察に、ご一緒させていただきました。
～匹見町におけるＵＩターン施策について～
　匹見総合支所地域づくり推進課の方、まちづくりコーディネーター、Ｉターン・Ｕターンの５名の方々にお時間を頂き、匹見町の取り組みを伺い、また質問もさせていただきました。
　美川町と人口はあまり変わらないのですが、高齢化率は10%くらい匹見町が若いようです。
　Ｕターンの方は、親元に帰られたようです。隣近所のおじいちゃん、おばあちゃんの笑顔が良くて帰りたいと思ったそうです。Ｉターンの方は、元の家を売り退路を断ってそれなりの覚悟を持って来られたそうです。わさび農家になるべく修行中です。自立するのに何年かかると思うかの質問に7年はかかるだろうと。移住者にとって何が一番必要かとの質問に、“人間関係”と言われました。笑顔で声をかけてもらえる事がなによりの励みになるのでしょうか。Ｉターンの方は奥様と地域の中に溶け込んで神楽や太鼓に木工ろくろと色々活動されているようです。Ｕターンの方は外に向けて声かけや情報発信をされていて、イベントも積極的に取り組んでおられるようです。
　美川町も定住促進連絡協議会を設立し、Ｕターン・Ｉターンの受け入れ、空き家の把握および岩国市への登録に向けて、まさに、いま第一歩を踏み出したところです。隣の芝生は青く見えるの如く、よその話を聞けばうらやましいような、しかし、ここは岩国市美川町。私達の未来は私達で。みんなで手をつなぎ、協力・団結のできる美川町であったらと思います。

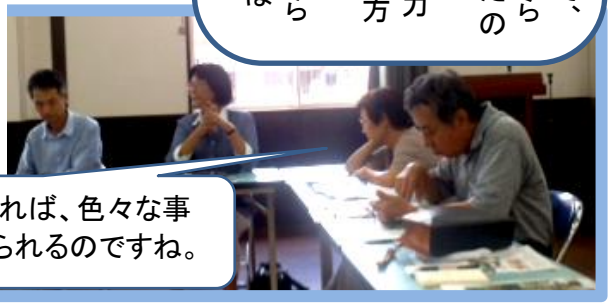


どこで匹見町を知って、何を決め手に選ばれましたか？

匹見町は昔からワサビや木工の町で、人の出入りがわりとあったので、外から来られた人の受け入れはしやすかったのではないかと考えております。
　今、「ひきみ田舎体験」という民泊に力を入れております。今年はフランスの方の受け入れも考えています。
　まず匹見に来てもらう、体験してもらう、知ってもらう、という事が大事ではないかと。

まちづくりコーディネーターさんがいろいろと匹見町の良い所を見つけ、引き出し、地域の皆さんと一緒にやって行かれるようです。

綺麗なパンフレットも出来上がっていました。三好さんちょっと興味を持ちました。



パンフレットを見れば、色々な事に取り組んでおられるのですね。

今、ほとんどの人がインターネットで探し、都会で行われる移住者フェアなどで希望を絞り込み、見学ツアーなどで現地に実際行って体験話など聞いて決めて行きます。
常に新しい情報の発信が必要です。

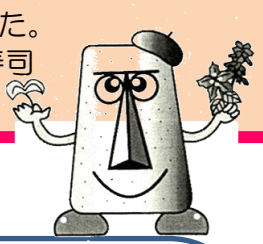
東谷さぬきパーク

8月21日に蒔いた種が芽を出したよ。
今年はお天気が良くて、しっかり生えてきたよ。ところどころとんだりしてるけどね　^

９月１日現在

集落支援員情報交換会で、宇部市に行って来ました。　８月３１日

　宇部市にも中山間地域が有り、田畑が有り、山がせまり　“玖北と景色が変わらんねェ”　と声が聞こえるくらいでした。
　宇部市の取り組みでは、市職員・保健師・集落支援員がグループを組んで活動されています。
長門市では、複数存在する地域づくり協議会に対して地域づくり支援員として市職員が活動をサポートしています。また、各自治会単位で活動内容を決め、集落の人が推薦した人を集落支援員として選任しているのだそうです。
現在、集落支援員を配置しているのは山口県では宇部、長門、岩国の３市だけだそうです。他の市の方も導入するに当たり、どのような活動をしているのかを聞きに来られていました。
　大きな市と思っていても、中山間地域ではどこも変わらず少子高齢化と戦っておられるようです。しかし、地域活性化にはいろいろと積極的に取り組んでおられます。美川町も考えなければならないのではないでしょうか。いかに健康で有意義にこの先生きて行くか、その為に何をしたらいいのか。美川町は美川町なりの、私たちに出来る事は必ずあるはずです。小さな事から始めてみましょう。行動なくして何も始まらないのではないでしょうか。一人ひとりが考えみんなで協力し、よそに負けない地域づくりをして行けたらいいですね。
　昼食に吉部地区の「ゆうれい寿司」をいただきました。岩国寿司に似た所が有りました。ほんとにゆうれいで、今度は11月3日のお祭りにしか出会えないようです。貴重なお寿司でした。



みかわ保育園より

　この度、プールと自転車置き場の所の木を切って下さった方、とても助かりました。以前にも草刈りをしていただき、職員一同大変感謝しております。
　どなたのご厚意かわからず、直接お礼をお伝えできませんでしたので、この場を借りてお礼申し上げます。
　ありがとうございました。

どなたか分からないままですが、心が温かくなりますね。
園長先生がとっても喜んでいらっしゃいました。今年はとても暑い日が続き外の作業も厳しいものがあったと思います。
おかげさまで子どもたちが気持ちよく過ごせるようになりました。
またこれからも美川の宝を見守って頂きます様に。